



■講習会・セミナー・見学会

●説明会・講習会

「移住・住みかえ支援適合住宅説明会」

開催日と会場：いずれも7月、14:00～16:00(予定)

- 1日(金)広島「ホテルセンチュリー21広島」
- 2日(土)大阪「スター会議室新大阪トレーニングセンター」
- 7日(木)青森「青森市荒川市民センター」
- 13日(水)富山「富山市富山南総合公園体育文化センター」
- 15日(金)長野「信州スカイパーク」
- 16日(土)愛知「愛知県産業労働センター」

「移住・住みかえ支援適合住宅講習会 (HLP取得講習会)」

開催日：いずれも7月、13:00～17:00(予定)会場は未定
26日(火)東京、28日(木)大阪、29日(金)愛知

受講料：HLP取得受講料39,900円、受験料：8,400円(いずれも初回のみ)

登録事務手数料：1,800円(初回/以降3年毎)

教育費：7,200円(毎年)

HLP受験資格：問わないが、原則1社2名まで

お問い合わせ先：事務局 担当 坂口

●「今年度の講習会」開催予定

今年度は下記の講習会を6月中旬より全国の主要都市で順次開催の予定です。開催詳細はホームページで案内します。

- | | |
|----------------------|------|
| ①「増改築相談員」講習 | 6月開始 |
| ②「既存住宅改修」講習 | 7月以降 |
| ③「住宅履歴」+「住まいの管理手帳」講習 | 7月以降 |
| ④「耐震診断改修施工指導者」講習 | 7月以降 |
| ⑤「長期優良住宅の基本」講習 | 7月以降 |
| ⑥「長期優良住宅型式活用」講習 | 8月以降 |
| ⑦「木造住宅の工事管理実務」講習 | 9月以降 |

●各種講習会のお申し込み

工務店サポートセンターHP→<http://www.jbn-support.jp/>よりお申し込み下さい。

刊行物のご案内

■新しい刊行物

●国産材でマンション・リフォーム

工務店サポートセンター編 A4版・64ページ

*「既存住宅改修」講習会用教材

●バリアフリー改修から始める住まいの快適リフォームパンフレット

工務店サポートセンター編 A4版実例入り。

*「既存住宅改修」講習会用教材

●長期優良住宅・型式認定マニュアル(解説編・申請編)

工務店サポートセンター編、刊行2011年2月、A4・270ページ

*「型式認定」講習会用教材

●発行/お問い合わせ

一般社団法人 工務店サポートセンター

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町12-4 建設国保会館1階

TEL.03-5643-5668 FAX.03-5643-5669

E-mail : jbn@jbn-support.jp homepage : <http://www.jbn-support.jp>

発行人：藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載

協力：社団法人 全国中小建築工事業団体連合会



FSC 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。また、環境保全活動を積極的に推進するグリーンプリンティング認定工場で製造しました。

●長期優良住宅型式認定マニュアル(国産材スパン表)

工務店サポートセンター編、刊行2011年2月、A4・400ページ

*「型式認定」講習会用教材

●長期優良住宅申請マニュアル申請編(新版)

工務店サポートセンター編、刊行2011年3月、A4・115ページ

●長期優良住宅建材マニュアル建材マニュアル①(構造編)

構造用面材・木造住宅用接合金物(新版)

工務店サポートセンター編、刊行2011年1月、A4・264ページ

●長期優良住宅建材マニュアル建材マニュアル②(省エネ編)

断熱材・開口部(新版)

工務店サポートセンター編、刊行2011年1月、A4・398ページ

●JBN版「住まいの管理手帳」戸建て編

長期優良住宅の完成引き渡しの際など、工務店サポートセンターの住宅履歴情報サービス機関「いえもり・かて」の利用には、本書の利用を必須条件としています。

((財)住宅金融普及協会発行、刊行2010年11月 頒価1,000円/冊)講習会用教材DVD、刊行2011年5月

*「住宅履歴」講習会用教材

●「木造建築士資格研修テキスト」平成23年度版

「長期・地域木造優良住宅」の信頼できる担い手に木造建築士木造住宅の品質の確保、性能の表示、評価、検査、生産履歴管理、保証など、新たな法制度によって、建築士でなければ携われない業務も増えています。本書は「木造住宅に精通したスペシャリスト・木造建築士」をめざす人はもちろん、木造住宅の設計・施工・管理に携わる人たちの学習専門書です。

井上書院発行、定価3,500円(送料別)

*木造建築士過去問題集(平成22年度までの5カ年)、同解答と解説、およびスマートフォン用に開発された学習用アプリ

一般社団法人木を活かす建築推進協議会、刊行2011年4月

●工務店サポートセンター監修・編「木造住宅・工事管理の実務」

彰国社刊、2011年7月発刊予定

*「工事管理技術者」講習会用教材

■長期優良住宅関連の刊行物

●「長期・ちきゆう住宅」仕様書

全建連・工務店サポートセンター発行、刊行2010年3月、A4・118ページ

*同講習会用教材

●「長期ちきゆう住宅国産材モデル・展示住宅ガイドブック」

25事例の展示住宅の詳細をガイドブックとして刊行。一事例あたり6ページ構成で紹介しています。

A4・164ページ 1,000円/冊(送料別)

【お詫びと訂正】

先月号(No.23)、先々月号(No.22)で紹介しました「応急仮設木造住宅建設協議会」の名称を「応急仮設木造建設協議会」と誤記した箇所がありました。お詫びして、訂正します。

JBN 会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。

「地域から必要とされ、信頼される工務店」のために工務店

サポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮 爺 記 (ぼやき)

住居には入ったが、居住が困難、という例が少なくないと聞いた。避難所から応急仮設住宅に入居したもののその日から生活の糧は自力で確保しなくてはならない。生活を支えるのが生業(なりわい)だが、多くの被災者の方々がこれも失ってしまった。生業があつての衣・食・住であり、それが成り立っての雇用なのだ。農・漁・工商の業の多くは住居と分かち難く成り立ってきたのだが、その復興は自力だけではどうにもならない。業の応急や仮は、容易なことではない。災害直後から復旧に携わってきたのは地域の建設業の人たちだった。復興を担うのも建設業の役割だ。復旧、応急、復興にあたる担い手の方々が体力をつけ、自信をもって大切な仕事にあたってもらうためにも「地元にお金を回したい」。応急仮設木造建設協議会の設立のねらいでもある。(F)

工務店サポートセンター

日本最大の工務店ネットワーク

JBN

Japan Builders Network

■JBN会員数(2011年5月●日現在)

正会員 1,689社、協力会員 76社、情報会員 30社

●地域工務店による応急木造住宅への取り組み/JBN 全国大会開催のごあんない

●事業報告・委員会報告

●会員団体の紹介「静岡木の家ネットワーク」/JBN 統計・会員動態調査

●お知らせ

■いえもり・かて登録累計数(2011年5月末日現在)
2,841件

レポート

2011
July
No.24

発行人：藤澤好一
©工務店サポートセンター
禁無断転載

7

月号

地域工務店による応急木造住宅への取り組み

「木の家づくりから林業再生を考える委員会」で青木全建連会長が発表

さる5月31日(火)、中央合同庁舎で開催された標記委員会が青木全建連会長が報告しました。国土交通省井上審議官をはじめ多くの委員から「初の試みだったが、地域工務店ならではの仕事として大きな成果だ、木の良さが活かされている」など高い評価を受けました。

以下に報告の内容から概要を紹介いたします。

東日本大震災・応急仮設住宅建設に向けた地域工務店の取り組み

●プロジェクトの基本コンセプト—被災された地域にお金を回したい—
背景 次のようなねらいがありました。工事の職人も被災者、資材物流が寸断され、入手できる地域材料を活用したい。被災地は寒冷(多雪)地でⅡ・Ⅲ地域区分。制約条件となる工期、価格、性能を満たし、地域材の活用、地域の労働・雇用の確保を目指して取り組みました。

住戸設計 木造軸組在来工法の原点に戻ること。大工と木材の活用で完成できることに注力しました。具体的に、木材は地産地消を原則に、105mm角材で柱・土台・桁を構成し、プレカットで対応することとしました。18mmの板材(製材)を中心に、荒床・外壁仕上げ材・枠材等に使用することを前提とし、合板不足へ対応しました。水平力は筋交いと火打ち梁で負担し、断熱材不足への対応では、各地域の熱抵抗値基準に準拠した性能を有する断熱材の入手に傾注しました。

住戸の計画上的特徴は、次の通りです。

[北側]風除室を設置、浴室以外はバリアフリー、浴室バスは1216タイプ、洗濯パン、4.5尺収納を設置。

[南側]和室の続き間とし、付け長押つき。居室には換気扇、カーテン・照明・エアコンを標準装備。住戸界壁の遮音性を高めました。

施工体制 被災地に営業拠点を置かれる、長期優良住宅の普及促進に関わった経験豊富なJBN会員事業者の協力を得て、本部および各県対策本部を立ち上げました。

工事工程 主なものを写真①～②で紹介いたします。



基本プラン(面積:6P×6P≒9坪タイプ(29.81㎡))



●復興義援金は735万円に。ご協力ありがとうございました。

当センターの東日本大震災対策本部の設置とともにJBN会員の皆様に義援金のお願いをしておりましたが、5月末をもって締め切らせていただきました。172社のJBN会員から寄せられた寄金は総額735万円となりました。ご協力に対し、深く感謝申し上げます。義援金は、被災三県の県庁を通して、災害復興資金として届けることに役員会で決定しました。

●お知らせ

「東日本大震災で被災した住宅を復旧するための災害復興住宅融資」

東日本大震災で被災された方に対する住宅融資限度は

・建設の場合 1400万円(基本融資額)+970万円(土地取得費)+450万円(特例加算)

・融資金利は、基本融資額に対して0.0%(当初5年間)など、引き下げられています。

・「防災証明書」の提出などの条件があります。

・お問い合わせ 住宅金融支援機構お客さまコールセンター(災害専用ダイヤル) 0120-086-353

「JBN工務店全国大会2011」開催案内

東日本大震災後の新しい日本へ、地域の工務店が担わなくてはならない大きな課題をテーマに全国大会を開催します。式典・シンポジウムを通じて、交流を深めJBN会員工務店の強い結集と意気込みをアピールしましょう。

テーマ「本来あるべき省エネルギーへの道すじ」

2011年7月19日(火)

1部 13:30～14:00 「JBNと工務店サポートセンターの活動」

2部 14:10～17:00 「本来あるべき省エネルギーへの道すじ」

基調講演とコーディネーター：秋元 孝之(芝浦工業大学教授)

パネルディスカッション

会場：新宿ワシントンホテル 定員：300名(申込み先着受付)

参加費：1社登録料3,000円(参加者1名分を含む)

2名以上の場合は1名につき1,000円

懇親会：17:30～19:30 同ホテル

定員：150名(17時より受付)

会費：1名6,000円

主催：一般社団法人工務店サポートセンター

後援：国土交通省、環境省、林野庁、全国建設労働組合総連合、(社)全国中小建築工事業団体連合会(いずれも予定)

●7月20日(水) 10:00～13:00

講習会：「木造軸組工法住宅省令準耐火構造・工務店サポートセンター仕様」と「いえもり・かて」

場所：住宅金融支援機構本店・すまいのホール

定員：300名 詳細はホームページ

東日本大震災で被災された全建連・JBN会員、会員団体の関係者の方々には、心よりお見舞いを申し上げます。引き続き関連機関との連絡、調整をはかりながら情報の収集、発信をはかるとともに復興支援に努めてまいります。

活動報告

前月号以降の活動

○第1103回 役員会 6月14日(火) 15:00~17:30
出席者 理事3名、執行役員4名、相談役1名、事務局2名
【あいさつ】
・青木理事長

東日本大震災に関する仮設住宅は、当初プレ協からの枠内でやっていたものが完了し、質がいいものが出来上がり、評判がいい。今後は、この流れと勢いを復興住宅に活かせるようにもっていかねばと考えている。

東日本大震災義援金は、思った以上に集まり、ご協力を感謝するとともに、有効な活用方法を考えていきたいと思っている。

・藤澤センター長

全建連総会に出席し、一般会員の方と話す機会があったが、工務店サポートセンターの活動内容について、まだ説明不足。足元を堅め、裾野拡大の活動を推進する必要がある。省令準耐火構造本センター仕様は、設計施工マニュアルの作成など、普及の準備を進めている。全国大会の翌20日の講習会を皮切りに全国に展開の予定。

【主な報告】

- 1) 会員実数、住宅履歴登録数
- 2) 義援金について
- 3) 5月末締め財務内容報告
- 4) 委員会活動報告
- 5) 全国大会の運営などについて

【主な議題】

- 1) ①各委員会・委員長・運営会議のあり方について
②委員会規定・役員旅費規定について
- 2) 応急仮設協議会の一般社団法人化及び都道府県ごとの体制整備について

[次回] 7月12日(火) 14:00~

青木理事長の動き

2011年5月14日(土)~6月14日(火)

5月

- ・17日(火) 徳島県全建連会員団体設立の件で徳島会長予定者と会談。工務店サポートセンター役員会。
- ・18日(水) 次世代の会に参加。
- ・19日(木) 富士山木造住宅協会事務局と補助事業の打ち合わせ。
- ・22日(日) 福島県三春町仮設現場視察(和田本部長等対応)。
- ・23日(月) 補助事業ヒアリング。
- ・27日(金) 全建連総会・役員改選・新理事・青木会長再任。全建連顧問のセンター長も。
- ・28日(土) 全建連40周年記念誌・座談会出席。
- ・30日(月) 国交省リフォームトータルプラン委員会出席。
- ・31日(火) 「木の家づくりから林業の再生を考える」委員会出席、国交省、林野庁でサポートセンターの仮設住宅について発表(初公表)。

6月

- ・4日(土) 木青連全国大会へ出席、初めて来賓として挨拶、応急仮設木造住宅を話題に。
- ・6日(月) 住宅金融支援機構と省令準耐火の打合せ、センター長も。住宅保証機構とリフォーム保険の件で打合せ、センター長も。ベターリビング・高瀬氏と住宅履歴で打合せ。
- ・7日(火) 信州木造住宅協会一般社団法人化設立総会出席。挨拶及び講演。
- ・8日(水) 国交省・林野庁へJBN全国大会挨拶上持参(事務長同行)。ベターリビング監視委員会、建築研究開発コンソーシアム総会出席。
- ・9日(木) 福井コンピューター雑誌取材。
- ・10日(金) 次世代の会の方向性意見交換。増改築委員会。

- ・13日(月) 住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会理事会・総会出席(事務長同席)。住宅履歴情報蓄積・活用推進会議出席(事務長同席)。
- ・14日(火) 役員会。

委員会・WG報告

次世代の会

●第1102回 5月18日(水) 14:00~17:15

場所: パールホテル茅場町B1会議室

- ・震災後の受注状況について各参加者よりそれぞれの資材入手状況等の報告。
- ・「工務店の就業規則—サービス残業をどう考えるか—」講師の新倉氏(新倉労務管理事務所)が就業規則の重要性などを講演。

●第1103回 6月15日(水) 13:30~17:00

場所: 青木工務店

- ・青木工務店視察(本社・モデルハウス・現場等)。
- ・リフォーム見積もりの事例発表—大規模リフォームにおける自社の特徴として、営業展開の方法、見積もりの方法と特徴、工夫などの取り組みが紹介された。

国産材委員会

●第1101回 6月8日(水) 17:30~19:30

場所: 全建連会議室2階

- ・本年度活動の骨子を決めた。
- ①研修会の開催(年度内4回を予定)
- ②アンケートの実施
- ③木材利用に関する相談窓口の役割等

[次回予定] 7月6日(水) 15:00~

環境委員会

●第1102回 7月20日(水) 内容など未定

増改築委員会

●第1102回 5月13日(金) 15:00~17:00

場所: 東京シティアターミナル

- ・国交省住宅生産課豊島氏より耐震改修リフォームと中古住宅リフォーム市場の活性化について、消費者サイドの調査結果などの説明を受け、委員と意見交換。
- ・23年度高齢者事業の取り組み方針とスケジュールの検討。

●第1103回 6月10日(金) 15:00~17:00

場所: 東京シティアターミナル

- ・リフォーム評価ナビについての内容説明。
- ・改修工事の際の瑕疵担保保険について。
- ・7月からの高齢者事業関係のヒアリング等の調査方針について。
- ・震災の仮設住宅建設の援助について。

防耐火委員会

●省令準耐火壁造・工務店サポートセンター仕様の設計施工マニュアル作成および講習会の準備

●木造軸組工法省令準耐火構造住宅のJBN仕様(真壁造)の認可を受け、仕様書および設計施工マニュアルの作成作業と講習会の準備に入った。

改良型木造軸組工法委員会

●6月の開催は無し

- ・被災地への支援活動について

マイホーム借り上げ制度検討WG

移住・住みかえ支援機構(JTI)「マイホーム借り上げ制度」を即利用できる「適合住宅制度」が新築住宅に続いて既存住宅でもスタートします。この制度の活用で、耐震・省エネ・バリアフリーなどを組み合わせた性能向上改修の提案が説得力のあるものになります。

要件は工務店が実施する建物診断(一定の資格要件があります)と建物の耐震評価点1.0以上、リフォーム瑕疵担保保険の付保となります。なお制度利用には別途年会費がかかります。

4ページの「お知らせ」欄の案内をご覧ください。



新しく刊行された「JBN既存適合住宅制度」案内パンフ

工務店サポートセンター統計

わが国の工務店数

住宅瑕疵担保履行法資力確保措置の届出状況から

JBN会員数を毎号公表していますが、2,000が目前となってきました。JBNロゴマークの上には「全建連の工務店ネットワーク」から「日本最大の工務店ネットワーク」と印刷するようにしたものもあります。それでは日本には、どのくらいの数の工務店が存在するのでしょうか。これまで確かな統計はありませんでしたが、住宅瑕疵担保履行法によって義務づけられるようになった資力確保措置の届出状況から新築引渡しに関しては把握できるようになりました。2009年10月1日から一年間の統計から主なものを抽出して紹介しますと、この1年間に届出された新築住宅は801,185戸であり、そのうち578,236戸が建設業者(37,843事業者)、222,949戸が宅地建物取引業者(8,226事業者)からの引き渡しでした。都道府県別のJBN会員登録の状況、人口・世帯人員数などと合わせてご参照ください。

建設業者	保険のみ	供託のみ	保険・供託併用	第2回基準日*		合計
				引渡有り	引渡無し	
国土交通大臣許可	913	63	32	1,008	281	1,289
都道府県知事許可	22,288	40	5	22,333	10,403	32,736
合計	23,201	103	37	23,341	10,684	34,025

*第2回基準日(2010年4月1日から同年9月30日)

下の表の届出業者数は、都道府県知事許可の保険のみの建設業者数(第2回基準日届出)。

都道府県名	人口(千人)	一世帯人員	資力確保措置届出業者数*	JBN会員登録数
1 北海道	5,507	2.27	1,062	20
2 青森	1,373	2.68	303	75
3 岩手	1,331	2.75	294	22
4 宮城	2,348	2.61	334	17
5 秋田	1,086	2.78	270	16
6 山形	1,169	3.01	265	5
7 福島	2,029	2.82	403	46
8 茨城	2,969	2.73	604	60
9 栃木	2,007	2.69	480	19
10 群馬	2,008	2.66	548	12
11 埼玉	7,195	2.53	1,124	58
12 千葉	6,217	2.47	821	42
13 東京	13,162	2.06	1,290	66
14 神奈川	9,050	2.35	1,075	93
15 新潟	2,375	2.83	698	47
16 富山	1,093	2.85	262	26
17 石川	1,170	2.65	315	15
18 福井	806	2.93	205	15
19 山梨	863	2.63	263	64
20 長野	2,153	2.71	564	87
21 岐阜	2,081	2.83	594	121
22 静岡	3,765	2.69	1,050	150
23 愛知	7,408	2.53	1,325	69
24 三重	1,855	2.64	398	16
25 滋賀	1,410	2.73	298	44
26 京都	2,637	2.35	434	19
27 大阪	8,863	2.31	962	84
28 兵庫	5,589	2.48	641	81
29 奈良	1,400	2.68	173	7
30 和歌山	1,001	2.54	221	34
31 鳥取	588	2.78	129	13
32 島根	716	2.73	158	2
33 岡山	1,945	2.58	315	20
34 広島	2,861	2.41	433	32
35 山口	1,451	2.43	302	19
36 徳島	786	2.60	175	5
37 香川	996	2.55	197	9
38 愛媛	1,431	2.42	401	22
39 高知	765	2.38	149	34
40 福岡	5,073	2.40	710	17
41 佐賀	850	2.88	188	23
42 長崎	1,427	2.55	237	11
43 熊本	1,817	2.64	343	19
44 大分	1,196	2.48	255	10
45 宮崎	1,135	2.47	255	26
46 鹿児島	1,706	2.34	396	8
47 沖縄	1,393	2.68	369	2
合計	128,056	2.46	22,288	1,702

会員団体の紹介 <http://www.kinoie-s.net/>

「一般社団法人 静岡木の家ネットワーク」

会員参加型の活動で、高まる認知度

静岡木の家ネットワークが設立されたのは2009年2月、工務店・設計事務所・流通・製材所と業種の垣根をこえ情報の共有化をしようとスタートしました。

2010年12月に一般社団法人に組織変更し、現在は35社になっており、大工・工務店部会、設計部会、流通・素材部会の3部会で意見を出し合い活動しています。今年度から、会員各自が得意な分野で活躍できるよう委員会を立ち上げ、今まで以上の活発な活動と成果を上げていけるよう取り組みをしています。

静岡木の家ネットワークの理念は、地元の材、地元の大工・工務店で丈夫で長持ちする住まいを提供しながら、将来に残る技術を伝える担い手を育成し、大工、工務店、設計事務所、流通、製材、素材が連帯・連携し事業を行うことで、地域を活性化することです。

去年の活動としては毎月の定例会(全会員)で、会員に役立つ情報提供や各種講習会、勉強会の開催や、静岡木の家ネットワークを地域に知ってもらうために、「木の家をしりたい! イベント開催!」と題して、会員合同で一般ユーザー向けに長期優良住宅と住宅エコポイントの説明、会員工務店の紹介、地元天竜材のディスプレイと紹介をするイベントを開催しました。また設計部会では、大工・工務店の長期優良住宅の普及を手助けするためにテクニカルサポートを立ち上げ、サポート内容と料金が分かりやすく長期優良住宅に取り組みやすい環境づくりを行いました。

今年は静岡木の家ネットワークの活動を具体的にし、会の方向性を明確にするため、2014年度までのロードマップと2011年度の年間スケジュールの作成をしました。

今年度の主な活動は二つあり、一つ目が「静岡木の家ネットワークの認知度を上げる戦略」として、地域材を使用した住宅の合同現場見学会、市民合同の『木の家づくりフォーラム』の開催、有効的なHPの活用を考えています。二つ目が【安心してまかせられる工務店戦略】として、住宅履歴システムの推進と省令準耐火などJBNの講習会を通じ資格と技術を取得し、各社の強みをつくることです。

今後、地元だけでなく他地域との交流・連携を深め、会員参加型の活動を増やし認知度を上げ、『良いイメージを連想する』独自のブランド化を図り、静岡木の家ネットワークで紹介受注をとれるようになることを理想としています。



毎月開催している定例会